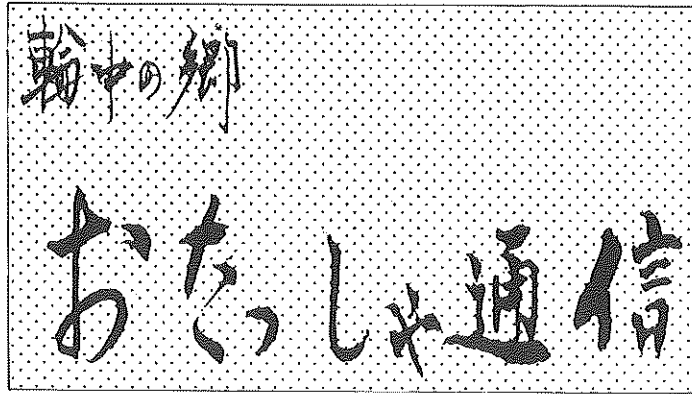


第51号



社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail wajyu@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www15.ocn.ne.jp/~yafuku/

支えられて14年

〜更なる天職を目指して〜



高宮 美樹子

※はじめに

私は、弥富福祉会にお世話になって、おかげ様で14年目を迎えることが出来ました。

思い起こせば20歳の時にこの世界へ入り、介護という仕事が一休のようなものなのか、全く無知な状態で身を投じました。右も左も分からず、ただひたすら先輩方の後を追いついて、背中を見て、業務を覚えるのが精一杯の日々でした。

二年目に入った頃、業務も覚え仕事の楽しさが見つかりました。ちようどその頃、後のメンター(心の師)となる方との出会いがありました。

その方は、病院を退職後、当ホームの福祉看護課長に就任され、様々な知識・技術を指導し

て頂きました。また、それだけでなく仕事に対する心構え、人としてのあり方も含め、私に情熱を注いでくださいました。

三年目に入り、「この仕事って楽しいな。もしかしたら天職かな」という楽観的な考えでしたが、楽しくて仕方がなかったのです。そうでしょう、まだ第一の壁にぶつかっていないのですから…。

翌年、先ほど述べた課長(Tさん)はデイサービスセンター所長として異動され、悲しい思いをしたことを覚えています。その後しばらくしてやってきたので、そう、「壁」です。今思えば、とても低い「壁」でしたが、その「壁」をすぐに乗り越え、新たなスタートになったのです。六年目にデイサービスセン

ター輪中の郷への異動、その二年後でしたでしょうか。弥富町デイサービスセンターへの異動が決まりました。落胆ではなくむしろ喜びが大きかったです。何故ならば又、Tさんの下で働けるのですから。

就職をしてからあつという間に八年が過ぎ、突然の別れが来ました。事情によりTさんは退職されたのです。

これから誰を目標にすればいいのか、又サービスの質は維持できるのかという不安が募るばかりでしたが、教えを忠実に守り、よりよいサービスの提供を維持する決意をしました。

何よりも当時の介護・看護スタッフの協力、利用者の方やご家族の理解と温かいお言葉に励まされ、乗り越えられたと思います。

十年目に入り、確実な自信は手に入りましたが、何か欠けているのではないかと感じていた時、南デイサービスセンターへの異動が決まりました。三度目の異動、十年目の初秋の頃でした。

これが私の大きな転換期になったのは間違いありません。

今までの私は、喧々囂々けんけんそうそうそのものでしたから、新境地へ行く前に一度心を無にしてみよう。そうすることで今までには見えなかった、見つけることが出来なかったものがわかりました。それはスタッフ間の心のつながり、信頼関係です。

そして13年目。ホームへ副課長職として異動が決まり、現在に至っています。

※今後の取り組みと課題

平成15年4月よりユニット・ケア方式に移行しましたが、職員の離職問題・人材不足等によりサービスの低下が考えられ、今年度より業務の合理化も合わせ、いちよう・しらかば・けやきほーむ職員との合同を図り、ローテーションでどのフロアの住人さんもお世話させて頂き、より多くの視点で住人さんのケアプラン、サービスの向上に努めておりますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

一、人材育成について

(スキルアップも含む)

我がホームの主力メンバー層は

20代が占めており、発展途上の者ばかりです。啓発として今年度より意欲的に各研修に参加させ知識を吸収し、サービスに反映させています。またサプリーダー・チューター制を敷くことにより、自らも強い責任感が生まれ、底上げ・指導が出来、強い戦力につながるよう努めています。そして、ご家族・住人さんのご要望・ご相談に対しても早期解決が図れます。

二、認知症ケアの充実について

認知症の方の一般的な症状として、「落ち着きがなくなる」「徘徊」等があります。専門的に問題行動↓行動障害といわれますが何ら問題ではないのです。

ただ、表現が上手く伝えられない(表現、正確な訴えが出来ない)ことでジレンマ・ストレスが生じる(自分の思い、目的があるからです)。

その思いを真摯に受け止め、その方の感情を引き出す方法としてバリデーションケアというものがあります。

受容・共感・傾聴の三原則で相手が今何をしたいか、訴えたいかを理解する。

又このような訴えが出来ない方についても、非言語コミュニケーションを使い穏やかに過ごして頂けるよう心がけています。

三、ターミナルケアについて

住人さんは、いわばホームが第二の家であり私たちの家族となります。

その方が終末期を迎えるにあたり私たちが出来ること、しなければならぬことは、不安と苦痛を少しでも取り除き、「いつでもあなたの側には誰かがいます」「一人ではない」と…。

また、家族の方に対しても密接な報告、辛さをわかち合い、チームが一丸となり、寄り添うことではないでしょうか。

介護という仕事は、その方が住人さんとなつてから、終末期を迎え最期を看取り、お世話させて頂くことが使命だと感じております。

したがって日々の『かかわり・つながり・むすびつき』を大切に、出来る限りの援助をしながら、安らかな生活を送っていただけるよう職員一丸で努めていきます。

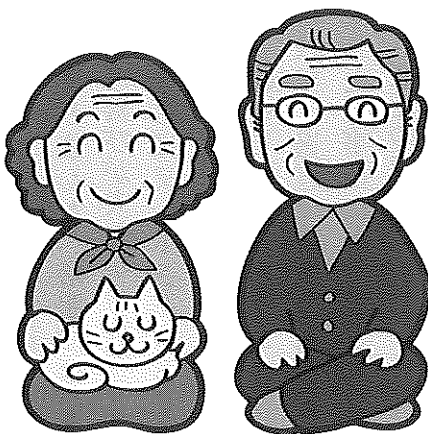
※おわりに

現在私は、いつ・どのような時でも多くの方から支えられていると強く実感しています。

ここまで乗り越えられてきたのも、場面場面にメンターがいたからです。これからは若い人のために私が強いメンターにならないければいけません。

そして私はこの仕事は何よりも誰よりも好きだという事。この揺らぎない思いと信念を胸に、今後皆さんと共に築き歩いていきたいと思います。

(共同生活課 総括副課長)



入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介いたします。



安江芳子さん。
8月より、けやきほーむの
家族になられました。

慣れない環境のせいか少し表情が硬かったですが、最近ではたくさんの笑顔がみられるようになり、自分から少しずつ話されるようになりました。
これからも風邪などひかず、元気に過ごして下さいね。
末永くよろしく願います。



横井君代さん。
8月より、いちよう・しら
かばほーむの家族になられました。

物静かですとも可愛らしく、職員がちよつと声をかけたくなるような方です。
今ではすっかり、ほーむの人気者で、食事もしっかりと召し上がられます。
今後は自力で食べられるようになれば嬉しいですね。
これからもお元気で、いつまでも可愛らしいおばあちゃんいて下さいね。
末永くよろしく願います。

亡くなられた方々

鈴木みつるさん 六十九歳

平成十九年七月二十四日

永眠されました。

宮島照子さん 八十四歳

平成十九年八月六日

永眠されました。

秋山英子さん 九十七歳

平成十九年八月十七日

永眠されました。

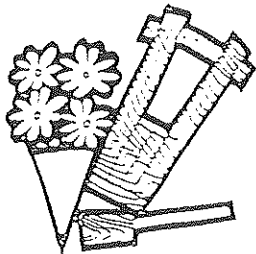
木下捨造さん 八十一歳

平成十九年九月一日

永眠されました。

皆さんのご冥福をお

祈りいたします



野球大会

三回戦へ進出

今年も8月29日(水)から10月末にかけて、第12回愛知県老人福祉施設職員野球大会が、小牧市民球場にて昨年より4チーム多い23チーム参加で始まりました。

今年は一回戦・二回戦と運よく勝て、三回戦へ進出しました。

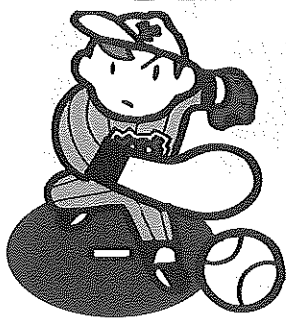
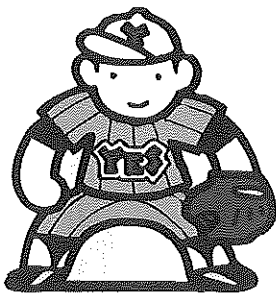
準決勝・決勝と進めるよう頑張ります。

▲一回戦(8月29日)

海部津島トリニティズ	3	4	1	2	3	4	5	6	7	計
レインボンバーズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	0	2	0	0	3	×				8

▲二回戦(9月13日)

海部津島トリニティズ	6	3	1	2	3	4	5	6	7	計
シリウス	7	0	1	1	0					5
	1	2	×							16



夏祭り



8月18日(土)に謝恩夏祭りを開催しました。

今年開設15周年ということで夏祭り委員は、参加される皆さんが『楽しい』と感じる祭りになりたいという気持ちでいつも以上に力が入りました。

準備では、職員が意見を出し合い、汗を出し、力を出し、施設長を先頭に励みました。

市長の力強いスピーチも印象的でしたが、盆踊りに参加してくださった地域の皆さん、住人さんの誘導・介護・模擬店の援助等

をしてくださったボランティアの方々、ご家族の皆さん、職員一同が力を合わせて作り上げたお祭りです。

きつと住人さんにとっても、心に残る忘れられない思い出になったでしょう!!

皆さんに感謝です。「ありがとうございました」

そして来年も今年以上のお祭りができることを願います。

輪中の郷では、「かかわり・つながり・むすびつき」をモットーに、人と人との絆を大切にしてい



き、これからもイベントを盛り上げていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

(東谷春美)



南部保育所との交流会

今年も9

月14日(金)

に南部保育所ひまわり組の子供たちが遊びに来てくれました。住人さんも笑顔の輪が広がり、楽しいひと時を過ごしました。また、遊びに来てくださいね。



蟹江吹奏楽団 演奏会



9月16日(日)にお彼岸前の恒
例行事となりました蟹江吹奏楽団
の皆さんによる演奏会が、ひまわ
りの広場で行われました。

この演奏会は、住人さんやご利用の皆さん、そしてご家族の皆さんにすっかり定着しているようで、「今年も楽しみにしていました」という声がたくさん聞かれました。演奏曲は懐メロ・童謡・ジャ

ズ・クラシックなどジャンルも幅広く、観客の皆さんは約30人編成バンドの迫力あるステージに、時に口ずさみながら、時にリズムをとりながら、時に泣きながら楽しまれていました。

観客の感情を見事に引き出す蟹江吹奏楽団の演奏には、毎年感心せずにはられません。

また来年もお待ちしております。

(宝泉忠之)



防災訓練実施

9月27日(木)に夜間を想定した避難訓練を実施しました。

今回は北側の居室から出火という設定で、南側の廊下を通ってホールまで避難する距離が長く、誘導に時間がかかるものでした。

各階の夜勤職員三名が力を合わせ、火元から近い居室の住人さんから起こし、シャッターで隔離されたホールへ誘導します。火が燃え広がらないように窓や扉を閉め、避難が終わった居室の扉に印をつけていきます。三名でも大変なのにある程度誘導すると、一人が見守りとしてホールに残らないといけないのです。

迅速にかつ怪我のないようにと、職員も汗だくになり必死です。自分で歩くことができる住人さん

も頑張って自力でホールへ避難していただきました。

15分経過し消防隊が到着したと仮定後、周りの職員も誘導に参加しました。

そんな中、少々時間はかかりましたが誰も怪我することなく無事訓練は終了しました。

今後どんな災害が起きても、冷静に行動できるように訓練の中で心構えを培っていきたいと思います。

(伊藤丈治)



健康管理の部屋

「带状疱疹(ヘルペス)について」

子供の頃に水ぼうそうにかかると、ウイルスが神経節の中に潜伏している状態が続いています。

ストレス・心労・老齢・抗がん剤治療・日光等の刺激により、ウイルスが再活性化するのが带状疱疹です。

一、症状として

神経に沿って帯状に赤い発疹と水ぶくれが出、痛みを伴います。前兆としてだいたい一週間くらい前から違和感やピリピリした痛みを感じることもあり、水ぶくれは左右どちらかの半身にしか出ないことが特徴です。

三又神経にできた時は要注意。

髄膜炎や脳炎にいたる恐れもあり、目の中にできると角膜炎や結膜炎を併発し失明することもあります。

また耳の中にできると耳鳴りやめまい、顔面にできると顔面神経麻痺に、腹部や下腹部にできた場合は排尿・排泄障害が生じることもあります。

二、治療として

抗ウイルス薬が特効であり、点滴や内服による治療で短期間での

回復が期待できます。

皮膚症状には、抗ウイルス薬軟膏が効果的で同時に安静にし、体力を回復することが大切です。

適切な治療を行えば、一週間ほどで水ぶくれはかさぶたになり治ります。

痛みに対しては治癒後も後遺症として残ることもあり、必要に応じて痛み止め・神経ブロック・理学療法・抗うつ剤・抗けいれん剤によつて対処することもあります。

また带状疱疹になる人は、ストレス・疲労・不規則な生活が原因のこともあるので、規則正しい生活と栄養をしっかりと、心の安静が必要です。

三、その他として

水ぶくれが破れると細菌感染が起こりやすくなります。化膿をおこさないためには、自分で破らないよう注意しましょう。

また入浴に関しては医師に相談してからのほうが良いと思われま

(園田照代)

発疹が出ている。皮膚がいたくて夜もオチオチ寝ておられん。



給食サービスを始めました



9月より弥富市の委託を受け月・火・水と昼食の給食サービスを行つていきます。

概ね65歳以上の一人暮らしの方や、高齢者のみの世帯で病弱又は障害のある方のご自宅へ、栄養・カロリーを考えた弁当を配達して

います。

ある利用者の方は、「今まで自分の好きな物で済ませていたので、栄養を考えてもらいありがたい。バランスよく何でもおいしく食べられます。」とおっしゃって頂きました。

これからも心待ちにしていただけるよう、おいしい弁当を届けていきますので、よろしくお願い致します。

(平川幸士)



いちよう。

しらかばほーむ

「ある日の昼下がり」



昼食を終え、くつろぐ住人の皆さん。

しばらくすると、あちらこちらから沢山の笑い声が聞こえてきます。

あちらの方では、手芸クラブ。一目一目心をこめてサクサク編んで…。ホッと一息ついて談笑。

こちらの方では、ほつれた衣類をチクチク。

他にもお手玉遊びをし、「スゴイ!!」と住人さんの新たな一面を発見するなど、どこを見ても笑顔でいっぱいです。

一方、黙々と作業を続ける数名の住人さん。近づいて覗いてみると、貼り絵をしているようです。



(田内沙也加)

いちようやもみじ、どんぐりやきのこなど秋にちなんだ貼り絵です。

線から少しもはみ出さないよう綺麗に一枚一枚貼っていく方、豪快にペタッペタッと貼っていく方、いろいろな色を交互に貼っていく方など、それぞれの貼り絵に住人さんの個性が表れています。一枚の貼り絵が完成すると自然と笑みが溢れ、あれやこれやと感想を言い合います。

毎日見ている表情の他にも、形として一人ひとりの住人さんの新しい表情を見つけた、そんなある日の昼下がりでした。

おや??皆さん手が止まったと思えば、煎ったばかりの落花生の殻を剥いで、せっせと口に運んでいきますよ(笑)

けやきほーむ

9月28日(金)にペットふれあい王国へ出掛けました。

久しぶりの外出だったので、皆さん楽しみにしていたのではないのでしょうか。

入場するとたくさんさんの犬たちが、お出迎えをしてくれ住人さんも犬を触ったりして大喜びでした。

次の犬のショーでは、達者な芸や競争にまたまた大喜び!!何度も何度も犬たちに拍手をおくり楽しそうでした。

その後も馬や豚など、めったに



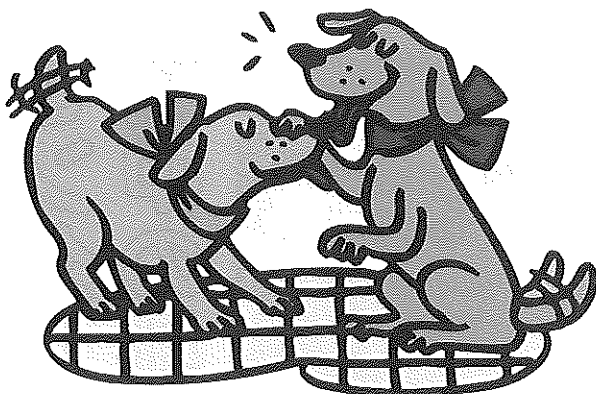
見るこのできない動物を真近でみられ、とても楽しい時間を過ごされたと思います。

季節も秋にな

り、肌寒い時期になってきました。

皆さん、これからもお元気で楽しく過ごして、たくさん外出しましょうね。

(神崎雄生)



短期ほーむくすのき

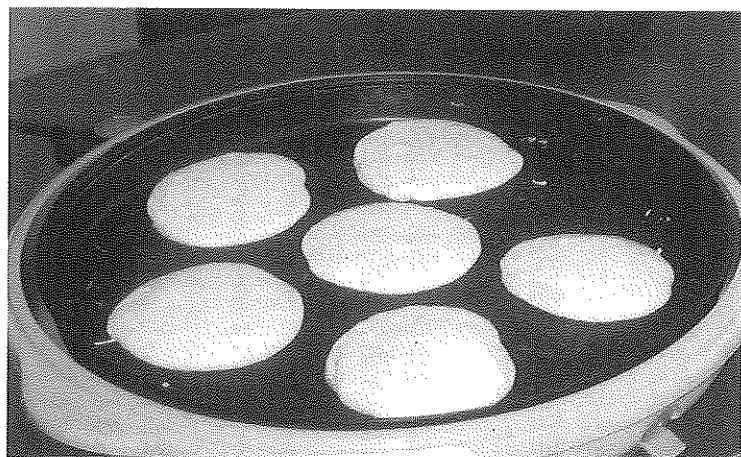
10月4日(木)にホットケーキ作りを行いました。美味しく手軽にできるので、毎月恒例のようになっています。

ホットケーキが焼ける時のあの甘くていい香りはたまりませんね。テーブルを囲んでいる皆さんの目は、徐々に焼けていくホットケーキに釘付けです。

思わず手が伸びてしまう方も…。焼き上がったホットケーキにイチゴのソースをかけ、さらにフルーツを添えて完成。「おいしいわ」「ええもん頂いて」と皆さん満面の笑み。

あつという間にお口の中へ入っていききました。

手軽に出来るホットケーキ。バナナを混ぜて焼いたり、どら焼き



にしたり、アイスクリームを添えたりと食べ方にも工夫し皆さんにも好評です。今後も喜んで頂けるように色々チャレンジしていきたいと思いま

(林 君佳)

デイサービスセンター 輪中の郷

収穫祭(落花生)

10月4日(木)にデイサービス広場において、ご近所から頂いた落花生を利用者の皆さんでむしり、茹でておいしく食べました。

「懐かしいね。小さい頃母親と摘んだものだよ」と笑顔で話して下さいました。

土で服も汚れるのに真剣そのものの。土に触れるのはいいものですね。

自然と笑顔にしてくれ、皆さん童心にかえったようです。

そんな利用者さんの姿をみると、私たちもとても嬉しい気持ちになれます。



これからも利用者の方々的心に響き、触れることが出来るようなサービスを提供していきたいと思

(深水利香)

弥富市

デイサービスセンター

「敬老会を開催」



去る9月17日の敬老の日に、さきやかですが敬老会を催しました。普段はレクリエーションで利用者の方にいろいろして頂いてばかりなので、この日は職員が何かやって、みて頂くとうの思いで、とっておきの踊りを披露しました。

まず、前もって練習しておいた「きよしのズンドコ節」「炭坑節」を踊りました。皆さんの反応は、いまひとつ盛り上がり、欠け昼食後の心地良さも手伝って、ウトウトされる光景もチラホラ。その後、フォークダンスの軽快なリズムにのって「マイムマイム」

これは体の動き、足の動き、少しくらいの練習ではマスターできません。勢いだけで動き、曲の途中に入る「ヘイ！ヘイ！」という掛け声だけがやたら元気！（そこしかできなかったのが現実です）

日頃運動不足の私は、後半息も切れ切れ、足はへろへろでした。このころになると少し見ている方の表情が違ってきました。「何をしているんだらう」という感じ。そして最後はアメリカ民謡、日本では「線路は続くよ、どこまでも」のおなじみの曲にのって、長い紐の中に皆で入り電車ごっこのようにひたすら行進です。途中で汽笛をまねて拳を上げて、「ポ、ポ！」と大きな声を上げるのがポイント。徐々に皆さんの顔が和み笑顔に。飛び入りで何人かの方にも入っていただき、一緒に「ポ、ポ！」はじめは嫌がっていた方も弾ける笑顔で、「ポ、ポ！」休みの日にもかかわらず、参加してくれた職員の子供さんも、「ポ、ポ！」調子にのつてもう一度イスに座ってみている方も笑顔で「ポ、ポ！」

皆さんお疲れ様でした。これからもずっとお元気でデイサービスに顔をみせてください。（宇佐美美枝子）

敬老の日のお祝いに小学生から大人まで総勢17名の方々による、ピアノとベル、トーンチャイムの演奏会がありました。利用者の方は朝からどんな演奏会なんだろう？と大変楽しみにさわれていました。小学生のピアノ連弾の姿に、皆口々に「かわいいね」「上手だね」と目を細められ、知っている曲が演奏されると口ずさんだり、手や足でリズムをとったり、名指揮者になりきって手を振っている方も



弥富市南

デイサービスセンター



いらつしやいました。曲が終わるたびに、「ありがとう」と大きな拍手を送り、普段は聞くことのないトーンチャイムの音色を静かにじつと聴き、職員も少しの間手を休め聴き入りました。皆さん、自分の孫やひ孫と接するように、話しかけたり握手をしたりしながら、とても楽しい演奏会となりました。訪問して下さった方々、貴重なお休みを割いていただき、ありがとうございました。（鈴木由加里）

《台所の薬草》

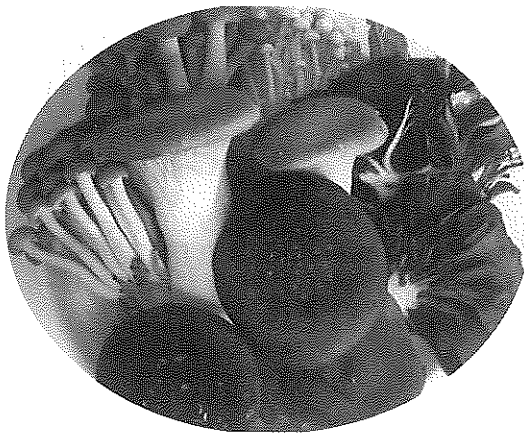
「きのこ類」

秋は美味しい食品が市場にありますが、今回はきのこの紹介をします。

高齢になると骨がもろくなると言われています。

予防するためには、適度の運動も必要ですがカルシウムの吸収に大切な働きのあるビタミンDを含んだ、きのこ類をお勧めします。

最近、ガンによいと耳にしますが、直接ガン細胞を攻撃するのではなく、体が持っている免疫細胞が活性化することによるものです。



○〇を食べて良くなった！という健康食品を見かけますが、説明書には手術や他の治療を受けて良くなったと書いていない場合もあるようなので、購入には注意が必要です。

また、コレステロールや血圧を下げる働きや食物繊維が多いので、腸によいなど等紹介されています。

さて、きのこ狩りには行かれますか。食べられるかどうかの見極めは大変難しく、野山へ行く場合は地元の方との同行をお勧めします。

虫が食べたものとか色では、毒きのこは絶対見分けられませぬ。要注意！

(津崎久美子)

ご寄付
ありがとうございます
ございました

7月1日～9月30日

- ・おたま会様
- ・安達文郎様
- ・さくら会 日舞様
- ・輪中の郷家族会様
- ・小山 宏様
- ・浅井正二様
- ・加藤敏男様
- ・中山自治会様
- ・弥富市社会福祉協議会様
- ・弥富給食組合様
- ・フードショップピュッや様
- ・合資会社 鳥善様
- ・山田 修様
- ・佐古木米穀店様
- ・わかわ美容室様
- ・鍋田給食組合様
- ・割田屋様
- ・リカーショップのむら様
- ・弥富金魚漁業協同組合様
- ・(有)メデイカル加藤様
- ・イズモ葬祭センター様
- ・下里 昇様
- ・木下康雄様
- ・編み物ボランティアグループ様
- ・永田末松様
- ・岩崎真由美様
- ・うたおう会様
- ・金森 進様

編集後記

10月14日は、「鉄道の日」ということをご存知の方は、どのくらいいらっしゃるでしょうか。1872年(明治5年)に、初めて新橋と横浜間が開通し、「国の発展に欠かせない基盤事業」として、また最も身近な公共交通機関として「中略」確かな基盤を築いてきた「国土交通省HPより」ことを記念して、平成6年より「鉄道の日」として定められたそうです。各鉄道事業所ではいろいろなイベントが催され、鉄道に関する情報や特別番組を放送する局もあるなど、鉄道ファンにとつて至福の日ではなかったかと思えます。鉄道ファンの方々も、「乗り鉄(主に乗ることが好きな方)」「撮り鉄(主に写真を撮ることが好きな方)」に始まり、いろいろなジャンルの方がおられますが、驚いたのは車輪の連結部分の電気ケーブル好きな方の存在を某衛星放送で知りました。どこに魅力を感じるか？ケーブル線のひとつが垂れることによつて描かれるカーブがたまらんだそうです。実に奥深い！そういう感性をお持ちの方に感動をしてみました。「鉄道の日」についての補足ですが、「鉄道事業者とその関係者が一堂に会し、鉄道の発展を祝うとともに、鉄道が国民に広く愛され、その役割について国民の関心が高まることを願って」《以下略》(国土交通省HPより)いるそうです。なかなか面白そうな世界ですね。(みそちゃん)